

















<p>事故の状況</p>		<p> を確認した。その際、  異状は認められなかった。  (5) 同3時9分ころ、事故者が  ところを勤務職員が発見し、直ちに非常ベル通報した。  (6) 同時16分ころ、事故者を医務部に搬送し、心臓マッサージ、気道確保、AEDによる蘇生措置を実施するとともに、救急車の出動を要請した。  (7) 同時42分、救急車が到着し、午前4時、  に事故者を搬送した。  同病院において事故者に対し、心臓マッサージ等の処置を実施したものの、同病院医師によって同時13分、死亡確認がなされた。 </p>
<p>事故者</p>	<p>6 使用器具 7 逮捕制圧等の状況 8 事故による犯罪 9 その他</p>	<p> 該当事項なし  該当事項なし  該当事項なし  該当事項なし  自殺事故者  受刑者                 </p>

事故者	11 所内における行状	[Redacted]
	12 本籍	
	13 住所	
	14 特殊被収容者報告の有無	
	15 その他	
		該当事項なし
職員の状況	1 配置及び勤務状況	当所夜勤第4班が勤務に当たっており、事故発生居室棟においては、[Redacted]の職員を配置していた。巡回警備システムに記録された巡回記録を検証したが、勤務者は定められた巡回時間（15分に1回）をおおむね守って勤務しており、勤務け怠は認められなかった。
	2 監督方法	監督当直者、副監督当直者、夜勤班長及び副班長が監督業務に従事していた。
	3 職責処理の状況	職員の勤務け怠は認められず、該当なし。
事態收拾の措置	1 職員の非常招集	該当事項なし
	2 非常配置箇所数、時間及び人員	該当事項なし
	3 管区機動警備隊出動の有無、出動した場合には、その活動状況	該当事項なし
	4 警察官署への依頼	該当事項なし

事故の原因・動機	1 事故者の動機 2 施設側の欠陥	遺書等はなく、動機は不明である。  特に認められない。
事故者に対する措置	1 懲 罰 2 事件送致	該当なし  該当なし
改善事項	1 改善した事項 2 改善すべき事項	[redacted] 被収容者についても、自殺自傷の危険性が常にあることを念頭に置き勤務するよう、指示を徹底した。  突発的な事案であるが、今後とも被収容者の心情把握及び綿密な動静視察の徹底に努める必要がある。
その他の参考事項		1 平成22年11月8日午後2時13分、名古屋地方検察庁から [redacted] 旨の連絡があった。 2 [redacted]